

<第4657回>

目的地：熊野古道・伊勢路

担当者：江口・西村

実施日：2025年11月22日(土)～24日(祝)

形式：民泊ハイキング

費用：¥32,950-

参加者：6名

行程：

22日(天気：快晴)

近鉄鶴橋駅(7:36)⇒(7:59)大和八木(8:03)⇒(9:01)松阪(9:16)⇒(10:44)JR尾鷲駅(11:00)⇒[タクシー]⇒(11:10)馬越峠登り口(11:15)→(12:15)馬越峠[325m][昼食](12:50)→(13:05)天狗鞍山(13:50)→馬越峠(14:10)→尾鷲神社(15:10)→(15:50)民泊福嶋(泊)

23日(天気：快晴)[6:00起床]

民泊福嶋(7:15)⇒[タクシー]⇒(7:30)八鬼山登山口(7:35)→(9:40)荒神堂(10:00)→(10:05)八鬼山[647m・桜の森広場][昼食](10:50)→(13:20)JR三木里駅下(13:44)⇒[バス]⇒(13:50)新開地バス停→羽後峠(14:25)→(15:20)JR賀田駅⇒[送迎]⇒(16:00)民泊磯渡し勝三屋(泊)

23日(天気：快晴)[6:00起床]

民泊磯渡し勝三屋(7:30)⇒[送迎]⇒JR賀田駅(7:58)⇒(8:16)大泊駅→松本峠(8:55)→鬼の見晴らし台(9:25)→鬼ヶ城バス停(9:50)→(11:10)獅子岩・花の窟神社[昼食](12:20)→(12:40)JR熊野市駅(13:05)⇒(14:55)松坂駅(15:00)⇒(16:26)近鉄鶴橋駅[解散]

感想：

11月の連休を利用して、古の祈りを宿す熊野古道・伊勢路を歩いてきました。3日とも快晴に恵まれ、澄み渡る青空に映える景色が、素晴らしい思い出を作ってくれました。

初日は、尾鷲駅からタクシーで馬越峠登山口へ。ハイキングツアーの団体に交じって、重厚な石畳の道を登ります。馬越峠に到着後早めの昼食を済ませ、古道ルートを外れて天狗鞍山へ登ります。天狗鞍山の頂上には巨岩があり、梯子を伝って登ると、前方に群青色の海が眼下に見渡せます。景色を十分に楽しんだ後、馬越峠まで戻り尾鷲の街を目指して下山。早めに本日の宿である民泊福嶋に到着しました。

2日目は、タクシーで15分ほどの八鬼山登山口に向かいます。この日は伊勢路の最高地点である八鬼山に登ります。2時間ほど登っていくと山頂の手前に「荒神堂」という祠(ほくら)が現れます。古くから地元の方々に深く信仰されており、当日も数名の方が掃除に登ってこられていました。そこから少し登ると、ついに八鬼山の山頂に到着。山頂付近に作られた「桜の森広場」からは、眼下に熊野灘が一望できます。海岸線が陽光を浴びて輝き、蒼と碧の交わる風景に心を奪われました。そして絶景をたっぷり楽しんだ後は、JR三木里駅に向けて下山。バスを利用して羽後峠登山口までショートカット。そこから羽後峠を越えてJR賀田駅に到着。民宿のご主人に送迎いただき、漁港に佇む民宿「磯渡し勝三屋」に宿泊しました。

3日目は、JR大泊駅から美しい石畳が続く松本峠を目指し、そこから鬼の見晴らし台へ向かいました。眺望を楽しんだ後、麓まで降り、そこからは世界遺産・鬼ヶ城の遊歩道を進みます。断崖絶壁に付けられた道から下を覗くと、荒波が岩盤に押し寄せ迫力満点。遊歩道には巨岩・奇岩が続き、まさに鬼の住処のような所でした。その後海岸線に沿って進み、日本最古の神社と言われる「花の窟神社」を参拝。巨岩をご神体にしたこの神社はパワースポットとしても有名で、それぞれの祈りと想いを託した後、JR熊野市駅から大阪に戻りました。

特記事項

22日に宿泊した民宿「福嶋」は、ご夫婦で経営されている民宿で食事とてもおいしかったです。料金は7,480円とリーズナブルです。

23日に宿泊した民宿「磯渡し勝三屋」は釣り客が多く、入口には釣った魚の魚拓が所狭しと飾られていました。夕食の刺身の船盛りは、ご主人が自ら釣った魚をさばいたもの。他の料理も美味しくボリュームも満点で堪能しました。